

第 64 号

平成 30 年 2 月 22 日

編集発行

足立区青少年委員会

広報部

足立区教育委員会

青少年課

<http://adachi-seishounen.jp>

足立区青少年委員会だより



区の花：チューリップ

あだち



笑顔あふれる活動を



青少年委員会副会長
高橋真佐子

足立区青少年委員会には、年中行事を大切にする取り組みやソフトボール大会などを企画・運営する事業部、健全育成に関わる研修会や講習会を行う研修部、年二回発行の広報紙とホームページで情報発信をする広報部、十三のブロックの取りまとめをするブロック部があり、さまざまな活動をしています。この中で人との関わりや出会いの大切さを学び、子どもたちの未来のために何ができるのかを考えながら、楽しく充実した活動をしています。

私たち青少年委員は、足立の子どもたちが、夢を持ち続け、笑顔をお忘れず、思いやりのある人になってほしいと心から願い、これからも日々協力していきます。

また、家庭 学校 地域をつなぐ担い手として各校の開かれた学校づくり協議会や関係団体との連絡を密にして、青少年の健全育成に取り組んでいきます。

青少年委員会宿泊研修

研修部 吉澤たち子

十一月二十五日、最高のお天気のもと、常磐道を使い、一路相馬へ。

バスの中では、福島県庁広報課が作ったビデオを見ながら事前学習を行いました。窓の外に見える山々は紅葉がとてもきれいでした。

ところが浪江町に入った途端、風景が一変しました。かつては広々とした田んぼだった所に黒いビニール袋に入った廃棄物がうず高く積まれています。それが何ヶ所もです。そして住めなくなった家がポツンポツンと悲しくなる光景が続きました。それが双葉町に入っても続き、数えきれない程の田んぼを占領していました。これからも増え続けるのかと思うと胸が痛く、涙ぐんでしまいました。

南相馬に入ってやっと洗濯物が干してある家を見つけ、ほっとした気持ちになりました。相馬に入ると商



店もあり、車の往来も多く、ずいぶん復興を感じました。

その後、相馬市民会館で相馬市教育長の堀川様、学校教育課長の渡邊様、主幹兼指導主事小関様、指導主事(元飯岡小学校長)高橋様の出席をいただき研修がはじまりました。

はじめに、堀川教育長より「震災後の取り組み」についてお話をいただきました。一番の心配はPTSDと

のこと。NPO法人の力を借りて、まず「心のケア」対策を行ったそうです。その他、放射線による健康不安への対策、内部被爆や甲状腺の検査等、子供たちの心と健康のためにいろいろ対策がとられています。また、相馬寺子屋学習会という名で東京大学学生ボランティアに来てもらい、子供たちを見てもらっている(中学生対象)など創意工夫支援事業を考え実行しているのとことです。

しかし、最初の頃と違い今は案も出なくなった、これからどうすれば良いかを検討しているとのことでした。

また、復興のために日本中からいろいろな人が町に入っているのので、不安を感じることが多く、心の病を心配し、月二回精神科の先生にお願いしているなど震災だけでない問題もあり、対応が多岐にわたっていました。



次に、高橋指導主事から「防災教育」についてお話

がありました。防災教育で身につけたい力は「自らの身を守り、乗り切る意思と力」だそうです。取り組みとしては、①防災学習の推進、②災害対応マニュアルの見直しと計画的な避難訓練の実施(年三回以上)、その他防災マップを作ったり、子供見守り隊を結成したりと、いろいろ考えられています。相馬市では「命を守る力」に重点を入れて活動をしているとのことでした。

相馬市では今なお震災の傷あとが深く、二度と同じ事がおこらないよう行政も地域も住民もそして子供たちもみんなで勉強し、力を合わせて前に進もうという気持ちを強く感じました。

お話を聞き、とても勉強になりました。

した。来て良かったと思いました。そのあとホッキ貝の殻むきの体験をして宿に入りました。

懇親会には、堀川教育長と高橋指導主事のお二人にも参加していただき講演会では伺えなかったお話まで聞くことができ、楽しいひと時を過ごすことができました。

翌日は、本・絵本がたくさん置いてある「子どもアートメゾン」を見学しました。とてもきれいな建物で、紙を利用したイスやテーブル、また柱の装飾にも紙が使われており、ほっと心が安らぐ場所でした。

バスの中で参加した一人一人に感想を聞いてみると、たくさん心を痛めることがあったが、心に残る研修だったと話す人が多く、次も参加したいと話していました。うれしいことです。意味のある研修になりました。



第九ブロック教育懇談会

遠山辰雄

第九ブロック教育懇談会は、いじめをテーマにミニライブを開催しました。

講師のシンガーソングライター「つっちよさん」は、旧千寿第二小学校、旧足立第十五中学校、都立足立高校の出身。NHK教育テレビ「一期一会」からのオフアールによる密着取材形式の番組フル出演を果たしてから、各種メディアの露出も増え、警視庁本部など様々なイベントで活躍中です。



中学から高校へ続いたいじめに、勇気を出して先生に相談したことが解決の道筋を作ったことや、応援してくれた両親への感謝など、勇気を出して相談することの大切さを、自身の歌を交えながら話していただきました。特に、両親に心配を掛けたくなくて、我慢して頑張っていた頃の歌には、多くの参加者が心打たれ涙していました。

「自分の歌で、一人でも多くの人

に勇気と希望を贈りたい！」との熱い思いが込められた歌声は、聴く人の胸に染みて会場は感動の拍手で包まれていました。

子どもたちの笑顔のために 北三谷いじめ対策プロジェクト

菱沼政弘

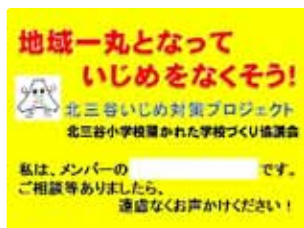
「いじめ問題」は子どもの生命・人権に関わる深刻な問題です。北三谷小学校でも、「いじめ防止基本方針」(全ての児童の明るい学校生活のために)に基づいて、いじめの防止・早期発見・早期対応・早期解決に取り組んでいます。

しかし、いわゆる「いじめ問題」に対する取組については、その多くを学校が担っているというのが現状です。そこで、家庭・地域と、より一体となった取組を推進していきたいと考え、平成二十八年六月に発足したのが「北三谷いじめ対策プロジェクト」(通称・北三谷グッド・スマイルプロジェクト)です。



この組織は、学校の先生方と同様に、子どもたちと直接的に関わる機会の多い地域団体・少年団体等の関係者を中心に構成されており、北三谷小学校開かれた学校づくり協議会の支援のもと活動しています。また、学校を担当している青少年委員とスポーツ推進委員は、校長先生の依頼を受けてこの取組のコーディネーターをしています。

今後も子どもたちや保護者の皆様のニーズに対応した積極的な取組を推進し、学校・家庭・地域の「三つの目」のネットワーク強化に努めていきたいと思えます。



校内・東和住区センター内に「幟旗」「ポスター」「グッド・スマイルポスト」を設置してあります。



「児童との意見交換会」の開催
(代表児童とプロジェクトメンバー)



「いじめゼロに向けた意見交換会」の開催
(保護者とプロジェクトメンバー)

成人の日の集い

東京武道館:平成30年1月8日(月・祝)

参加者:3,860人

区内新成人:6,355人

(男性3,371人/女性2,984人)



実行委員氏名 (五十音順)

渡保宮松牧野西鶴齊小黒織上伊天
 邊田澤本野口村田藤出川茂邨澤本
 美恵智美裕明眞あ瑞蓮佳雄マリ将友
 友里宏輝馬歩穂い樹祥純太ア希香



実行委員あいさつ

新成人代表 織茂 雄太

私たちは、一月八日に足立区成人の日の集いを開催していただき、大人としての第二步を踏み出しました。

無事に式を終えられたのは、開催にあたり尽力してくださった近藤やよい区長をはじめ、区役所の方々、地域の皆様、新成人の皆さんのおかけです。心より感謝申し上げます。

人生で一度しかない成人式を、色濃く思い出に残るものにするため、私たちは有志で集まった十五名で、約半年前から準備を進めてまいりました。「足立発↓大人行き」愛せよ人生進めよハタチ」という今年のテーマには、足立区新成人が協力し合い、互いの夢を叶えて行こうという想いが込められています。

当日は、三八六〇人も新成人が集い、会場は、大人の仲間入りを果たした責任感と、将来への期待に包まれていたように感じます。この成人式が、一人でも多くの新成人の「機会」になればと思っております。

私たち新成人は、二十年間温かく見守ってくださった、足立区の皆様への感謝の気持ちを胸に、これからも夢

に向かって日々精進してまいります。

「新成人の皆さんへ」

青少年委員会 川下 勝利
 副会長

今にも降りだしそうな曇天の中「成人の日の集い」が、区内六三五五名の新成人を対象に東京武道館で行われました。新成人代表十五名の実行委員が話し合いを重ね、当日の式典が運営されました。例年と同じように、新成人の60%にあたる三八六〇人が参加し、華やかな雰囲気の中式典が執り行われました。

広報部では、毎年独自にアンケート調査を実施しています。今年も五〇〇名の皆さんにご協力をいただきました。年度を渡って比較できるように質問項目も変更せずに行ってきましたが、「これからは足立区に住みたいと思いますか？」の問いに対し「はい」の回答が昨年に引き続き高くなっています。理由についても、住みやすい・足立が好き・交通の便が良いとの肯定的な内容が多く、青少年に関わる私たちとしては、とても喜ばしい結果となっています。

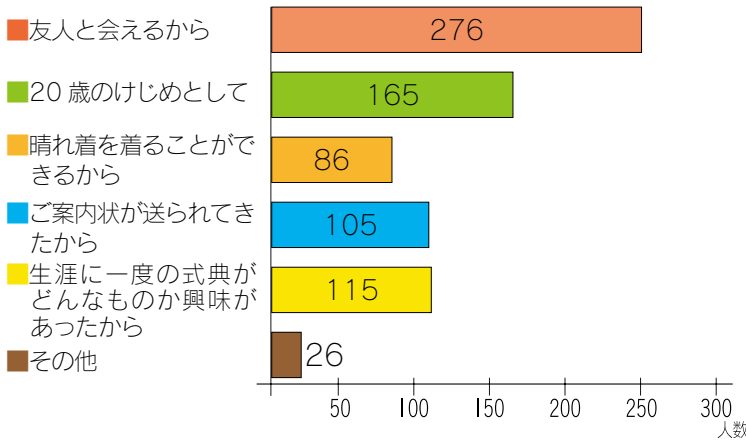
皆さんが、この気持ちを次の世代に繋げていただき、より良く足立区が発展していく事を願っています。

成人の日の集い アンケートより 〈集計結果・複数回答あり〉

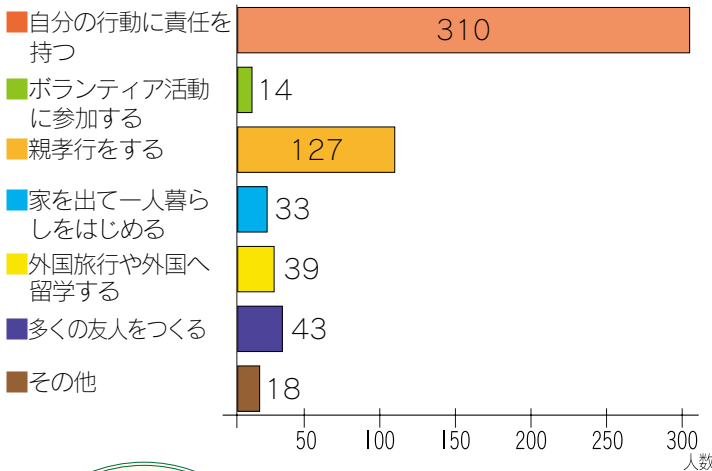
アンケート回答数	
男性	235
女性	257
合計	492

職業	人数
勤労者（アルバイト含む）	148
学生	320
その他	9

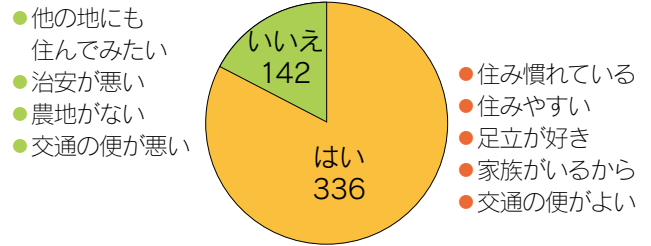
1 成人式に参加された理由は



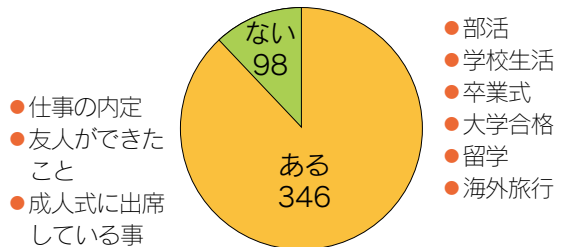
2 20歳の抱負は



3 これからも足立区に住みたいと思いますか



4 今までの人生で喜び感動など心に残ることはありましたか



5 あなたの10年後は何をしていますか

- 仕事をしている（具体的な職種を複数回答してくれた）
- 自立している
- 夢をかなえている
- 海外で生活
- 頑張っている
- 結婚して幸せに暮らしている
- わからない

平成30年1月8日 アンケートを実施して

あいにくの寒々しい曇り空でしたが、式典が終わるまでは何とか降られずにアンケート調査を終えることができました。

会場では、友達との再会にあちこちで歓声が上がっていました。そんな中、新成人の多くの方に快くアンケートに協力してもらえました。

④の心に残ることで、映画や舞台劇に感動したとの回答もありました。また、今日のこの成人式に出席していることとの回答が多くありました。

⑤の10年後は何をしているかの問いに、「仕事をしている」との回答が多くあり、その中には子育てをしながら働いているとの回答もありました。



第五中学校七十周年

第三ブロック 浅野成美

十一月三日 足立区立第五中学校 創立七十周年記念式典・祝賀会が行われました。式典では近藤やよい区長より、お褒めの言葉や励ましの言葉をいただき、これから五中生として、教職員として又地域としてどうあるべきか、どうしたいかを考えさせられたと思います。また生徒の合唱はとても力強く皆さんを感動させたいと思います。

来賓講演は、生徒達の記念式典と位置付け、講演講師を検討したところフジテレビ情報製作開発センター部長の張江泰之様、第二代K-1 WORLDGP スーパーバンタム級チャンピオン 武居吉樹様、LDH所属元 BREATHEメンバー 宮田悟志様と素晴らしい方がいらっしやいました。この三名のつながりは、「ザ!ノンフィクション」の製作者と取材された側、主題歌を歌っている歌手です。

三名の方が共通しておっしゃったのは『夢を諦めない』でした。過去に悔しい思い、挫折を味わいめげそうになっても、夢を諦めず自分がやるべき事が何かを見出だし頑張った結果、それぞれが進むべき

道、夢見て

いた道に進

めたのでは

ないでしょ

うか。「何

度失敗して

も挑戦をす

る。回りの

人への感謝

の気持ちを

忘れずに、

努力無しに

得るものは決して無い。頑張れば結

果は付いてくる」と心に残るメッ

セージがたくさんあり、皆さまにも

頑張ろうという気持ちが込み上げて

きたと思います。

祝賀会のアトラクションとして、

新体操のKANAI & TESOROのチー

ムによる、しなやかで華麗な演技が

披露されました。また、以前音楽の

教諭だった越渡珠代(こいどたまよ)

様の指導の下、約二ヶ月の練習を経

て卒業生、PTA、地域の方による

コーラスがあり、綺麗な歌声が会場

に響きました。

今回の周年を総括して、栗田実行

委員長は「皆様の五中愛は素晴らしい」「五中は永久に不滅です」とおっ

しゃっていました。その通りだと感

じました。



第十中学校七十周年

第四ブロック 小島恵子

『躍進』輝く未来へ、と銘打ち、特別な一年が始まりました。

◆スプリングコンサート三月十二

日、七十周年のオープニング事業

(十中吹奏楽部、プロ奏者・木管

五重奏、サニーサイド・ゴスペル・

クラブ・北千住)

◆記念運動会五月二十八日、聖火リ

レーや記念Tシャツを着用しての

演目(集団行動・ダンス)など

◆サマーフェスティバル七月二十九

日、ダンス・ゲーム・模擬店

◆地域啓発ポスター(美術部作成)

展示九月〜十一月、アリオ西新井

店・イオン西新井店・ギャラクシ

ティにて

等々、とびき

りの年となり

ました。

十月二十一

日、記念式典

が挙行され、

早乙女雄一郎

校長より「創

立七十周年の

節目を『躍

進』の年と

して、人間力

豊かで、たく

ましく生きる

力と、知力を

兼ね備えた生

徒の育成を目

指し、大きく

成長させたい

と考えていま

す。今後とも

ご支援とご協

力をお願いい

たします」と

挨拶がありま

した。

近藤やよい区長は「昭和二十二年

の開校以来、学びあう人・思いやる

人・鍛え合う人を合言葉に、子ども

たちの健やかなる成長を願い、ご指

導いただきました歴史の校長や教職

員・地域の皆さま方に深く感謝いた

します。今後の益々の発展を祈念し

ます」と祝辞を述べられました。

祝賀会では地元・島根ばやし連中

による壽獅子、今話題の「和太鼓グ

ループ彩」の演目で盛大な会となり

ました。

更なる十年を目指し、

『日に新たなるこの国を

築け若人我が十中』



舎人作品コンクール

第十三ブロック 緑川勝彦

舎人地区では地少協主催の作品コンクールを毎年開催しています。地域の四つの子ども会に所属する子どもたちが、夏休み期間に制作した図画工作や書道の作品を、古千谷小学校体育館に展示します。それらに対して五つの町会・自治会の会長、六つの小中学校の校長先生、地区対会長、地少協会長そして私たち青少年委員がそれぞれ優秀作品を一点選び、表彰します。

とかくルーズになりがちな夏休み期間ですが、子どもたちが作品制作にこつこつと取り組んでひとつのものを完成させることの大切さ、苦勞、喜びなどを感じる事ができる貴重な一大イベントになっています。三十四回目となる今年は八月二十六日(土)に審査を行い、翌二十七日(日)に賑々しく表彰式が開催されました。



あだち区民まつりに参加して

広報部 中里史朗

十月八日、九日にあだち区民まつりAフェスタが荒川土手にある虹の広場にて開催され、今年もミニSSL、ウォーターコイン、一円玉アートを担当しました。

一日目はあいにくの雨。少し肌寒い中の開催となりました。ミニSSLは何度も試運転を重ねレールの微調整を行いながらようやくスピードの出るコースとなりました。一円玉



アートは生涯学習センターから備品をお借りし、ウォーターコインもみなさんそれぞれ準備に励みました。午後には来場者も増えて『SLどこ?』などと探す声も多く聞かれ、ウォーターコインにも列が出来はじめました。一円玉アートはもう少しで完成という所で初日が終わりました。

二日目は晴天となり、とても暑い中の開催となりました。ミニSSLもウォーターコインも大盛況。大勢の子供達の笑顔が見られ、来場者も楽しんでいました。

平成29年度 区立学校周年記念式典実施校

実施日	学校名	周年数
10月14日(土)	第九中学校	70周年
10月21日(土)	竹の塚小学校	50周年
10月21日(土)	第十中学校	70周年
10月28日(土)	蒲原中学校	60周年
10月28日(土)	伊興中学校	40周年
11月3日(金)	第四中学校	70周年
11月3日(金)	第五中学校	70周年
11月4日(土)	第六中学校	70周年
11月5日(日)	第十二中学校	70周年
11月11日(土)	第七中学校	70周年
11月11日(土)	第十一中学校	70周年
11月18日(土)	亀田小学校	60周年
11月18日(土)	辰沼小学校	40周年
11月25日(土)	第十四中学校	70周年
11月25日(土)	花畑北中学校	40周年
12月2日(土)	第一中学校	70周年

感謝状贈呈

長期間にわたり、学校活動の支援を続けている団体に贈られる感謝状が、東京都教育委員会より足立区では左記の団体に贈呈されました。

学校教育活動支援部門

・和太鼓龍虎流 宗家 龍虎太鼓会

(足立入谷小学校にて活動)

・西保木間小学校学校図書ボランティア

・第九中学校開かれた学校づくり協議会

環境整備支援部門

・弘道第一小学校開かれた学校づくり協議会(コアテくらぶ)

・伊興中学校おやじの会

学校安全支援部門

・綾瀬小学校交通安全ボランティア



一円玉アートも完成し、二日間で一三三〇円集まりました。ご協力頂いた方々には心より感謝申し上げます。この募金は社会福祉協議会へ寄付させていただきました。この二日間はみなさんの笑顔を見ることができ、来年も頑張ろうと思える日となりました。

研修部の活動

研修部副部長 古川 美奈子

この2年間の研修部の活動は、多種多様な内容で研修を企画してまいりました。

初めに掲げた「青少年委員としてのスキルアップと実感」を実現すべく、例年とは異なる形で、グループでディスカッションを多く取り入れ、ブロック毎・各校毎に、様々なカラーがあることを学びました。

また、「日帰り研修」「宿泊研修」では、千葉県鋸南町・福島県相馬市の教育関係者との意見交換・交流会など、とても充実した内容の研修となりました。

2月には、「全体研修」がありました。

研修部一丸となり、今後の活動に役立てる研修を企画し取り組んでまいります。

事業部の活動

事業部副部長 仲崎 弘子

事業部の主な活動としては、雛飾りや七夕などの「年中行事・記念日を大切に作る」取組み、健全育成ソフトボール大会、あだち区民まつり参加準備などがあります。

中でも今年度は、6月に行われた健全育成ソフトボール大会において、たくさんの応援を背に、青少年委員の選手の皆さんの大健闘で、初めての準優勝となりました。

盛り上がった気持ちそのまま、試合終了後は、関係団体の皆様と和気あいあいと懇親を深めました。

1年間を通していろいろな活動への参加ご協力に対し改めて感謝申し上げます。

12月17日に第十四中学校の体育館にて、青少年委員ビーチボールバレー交流大会を開催し、16チームが集い優勝をめざして熱戦を繰り広げました。2、3日後には、かなりの筋肉痛に悩まされました。



編集後記

広報部長 佐藤 健 二

今年度の宿泊研修で、東日本大震災の被災地を訪れました。復興が今も現在進行形で行われているのを目の当たりにして、公共事業を軸としたハード面の復旧・復興の他に、心に傷を負った被災者への精神的ケアといったソフト面の援助が欠かせない事を知りました。また、東京で暮らす私達がいざ災害に見舞われた際に、果たしてそれを乗り越えるだけの行動ができるのだろうか、疑問を抱きました。毎年、足立区災害対策課の指導のもとで、各町会・自治会主催の避難所運営訓練が実施されていますが、その参加者は高齢者ばかりで、若い世代の方々は少ないのが実状です。災害が発生した時に本来活躍が期待される若者が、訓練に参加したり災害に備える行動に背を向けているのです。訓練に顔を出さない方に、参加しない理由を尋ねると「面倒くさい」「日曜日は休みたい」といった身勝手ともとれる答えが返ってきました。私達が危機感をもって、世代間の考え方のずれを埋めていくべきなのかもしれません。宿泊研修で学んだ事柄を地域に持ち帰って、子供や若者も含めて多くの方々に防災の必要性、助け合いの重要性を発信していかなければならぬと強く感じました。そうした行動が、命を守るという意味を改めて考え直すきっかけになれば良いと思っています。

東京都青少年健全育成 功労者表彰を受賞されました

12月13日東京都庁第一庁舎大会議室において、下川佐智子会長が、昨年度受賞の北島一弘前会長に続き、東京都青少年健全育成功労者として知事表彰を受賞されました。